



九電グループサステナビリティ報告書2020 ダイジェスト

SUSTAINABILITY REPORT 2020 DIGEST



経営理念「九電グループの思い」

ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九電グループの思いです。

この思いの実現に向けて、私たちは次の4つに挑戦しつづけます。

地球にやさしい エネルギーを いつまでも、しっかりと

私たちは、お客さまに毎日の生活を安心して送っていただけるよう、エネルギーや環境に関する豊富な技術や経験をもとに、世の中の動きを先取りしながら、地球にやさしいエネルギーをいつまでも、しっかりとお届けしていきます。



九州とともに。 そしてアジア、世界へ

私たちは、九州の皆さまとともに、子どもたちの未来や豊かな地域社会を考え、行動していきます。そして、その先に、アジアや世界をみます。



「なるほど」と 実感していただくために

私たちは、お客さまの信頼を第一に、さまざまな声や思いをきっちりと受け止め、お客さまに楽しさや感動をもって「なるほど」と実感していただけるようなサービスでお応えしていきます。



語り合う中から、 答えを見出し、行動を

私たちは、人間の持つ可能性を信じ、個性を尊重し合い、自由・活発に語り合う中から、明日につながる答えを見出し、行動していきます。



九電グループ経営ビジョン2030

2030年の
ありたい姿

九州から未来を創る九電グループ

～豊かさ快適さで、お客さまの一番に～

戦略Ⅰ

エネルギーサービス事業の進化

低炭素で持続可能な社会の実現に挑戦し、より豊かで、より快適な生活をお届けします。

戦略Ⅱ

持続可能なコミュニティの共創

九州各県の地場企業として、新たな事業・サービスによる市場の創出を通じて、地域・社会とともに発展していきます。

戦略Ⅲ

経営基盤の強化

経営を支える基盤の強化を図り、九電グループ一体となって挑戦し、成長し続けます。

九電グループは、CSR経営を通じて 地域・社会の課題解決に取り組み、 「持続可能な社会の実現」に貢献します。

九州電力株式会社 代表取締役 社長執行役員 池辺 和弘



九電グループは、「ずっと先まで、明るくしたい。」をブランドメッセージとする「九電グループの思い」のもと、低廉で良質なエネルギーをお客さまへ安定してお届けすることを通じて、お客さまの生活や経済活動を支え、九州とともに成長してきました。

一方、国内外では経済・社会・環境面での社会的課題が多様化・複雑化し、その解決に向けた企業への期待も大きくなっています。

こうした中、九電グループがどのような貢献ができるかを示し、地域とともに発展・成長していくという私たちの姿勢を発信するため、昨年6月に「九電グループ経営ビジョン2030」を策定し、現在、このビジョンの実現に向けた取組みを推進しているところです。

これらの取組みを、社会的課題の着実な解決に繋げていくためには、これまで以上にステークホルダーの皆さまからの期待・要請をしっかりと受けとめ、CSR経営を充実させていくことが重要と考えています。

CSR経営の充実にあたって

近年、国際社会全体の持続可能な開発目標として国連で採択されたSDGsや、企業の環境等への配慮を評価するESG投資など、地球規模で「持続可能な社会の実現」に向けた取組みへの期待が高まっています。

国内においては、気候変動による災害の多発化・甚大化や、人口減少等の進展による地域の衰退など、様々な課題が深刻化しつつあります。また、至近では新型コロナウイルス

の感染拡大により多方面に甚大な影響が生じています。

このような経営環境の変化も踏まえ、九電グループはSDGsなどから幅広く抽出した社会的課題のうち、ステークホルダーの皆さまからの期待・要請を最優先に考えた「豊かな地球を守る」「皆さまの暮らし・経済を支える」「地域社会を元気にする」等を柱とするCSRの重要課題の解決に向けて、グループの強みを活かした取組みを充実させていきます。

「持続可能な社会の実現」を目指して

今後も、九電グループは「九州の発展なくして、九電グループの発展なし」という思いを共有して、地域の皆さまと一緒に汗をかき、知恵を絞りながら、様々な課題の解決に積極的にチャレンジしていきます。

皆さまに満足いただける価値を提供し、地域社会や皆さまの暮らしの発展に貢献することで、九電グループも成長し、また新たな価値を創造するという好循環が生まれるよう、取組みの更なる充実を図っていきます。

本年4月に当社の送配電部門が新たに「九州電力送配電株式会社」として分社しましたが、これからも九電グループ一体となって、地域の皆さまと一緒に「九州から未来を創る」ことで、「持続可能な社会の実現」に貢献してまいります。

2020年6月

※SDGs(Sustainable Development Goals)：2015年に国連サミットで採択された、国際社会全体の「持続可能な開発目標」であり、2030年を期限とする17の目標で構成

持続可能な社会の実現に向けた、

九電グループのCSR取組み

九電グループは、CSR取組みを通じて地域とともに成長し続けます。



生活者への
提供価値

事業価値

地域とともに
成長し続ける
九電グループ

低炭素社会の実現
[災害発生・被害の減少]



快適で豊かな
生活の実現



持続可能な
コミュニティの創造



需要・サービス機会の増大
災害対応コストの減少



地域社会・
暮らしの発展



持続的成長

事業活動の充実



収益拡大
持続可能な
社会づくりの
資本増大



信頼とグループブランドの向上

CSR取組みのさらなる充実

ずっと先まで、明るくしたい。(持続可能な社会の実現)

CSR重要課題	主な取組み	主なSDGs
 地球環境	気候変動リスクを低減し、豊かな地球を守ります。	
	CO ₂ 排出量の抑制	  
	再生可能エネルギーの開発・受入れ	  
	生物多様性の保全	 
 経済基盤	エネルギー・インフラで、皆さまの暮らし・経済を支えます。	
	電力の安定供給	  
	原子力発電所の安全・安定運転	  
	安全で強靱なまちづくり	
	お客さまのニーズ・課題を踏まえたエネルギーサービス	
 地域社会	地域の皆さまとともに、地域社会を元気にします。	
	地場産業の振興と雇用創出	  
	九州地域の交流人口の拡大	  
	お年寄りや子どもにもやさしい社会への貢献	  
 人材・組織	従業員のチャレンジを促し、組織基盤を強化します。	
	イノベーションの創出	  
	人材育成	  
	働きやすい職場づくり	
	コーポレート・ガバナンスの実効性の確保	

九州電力(株)の概要 〔2020年3月31日現在〕

※九州電力送配電(株)が2020年4月1日に
分社する前の数値を記載

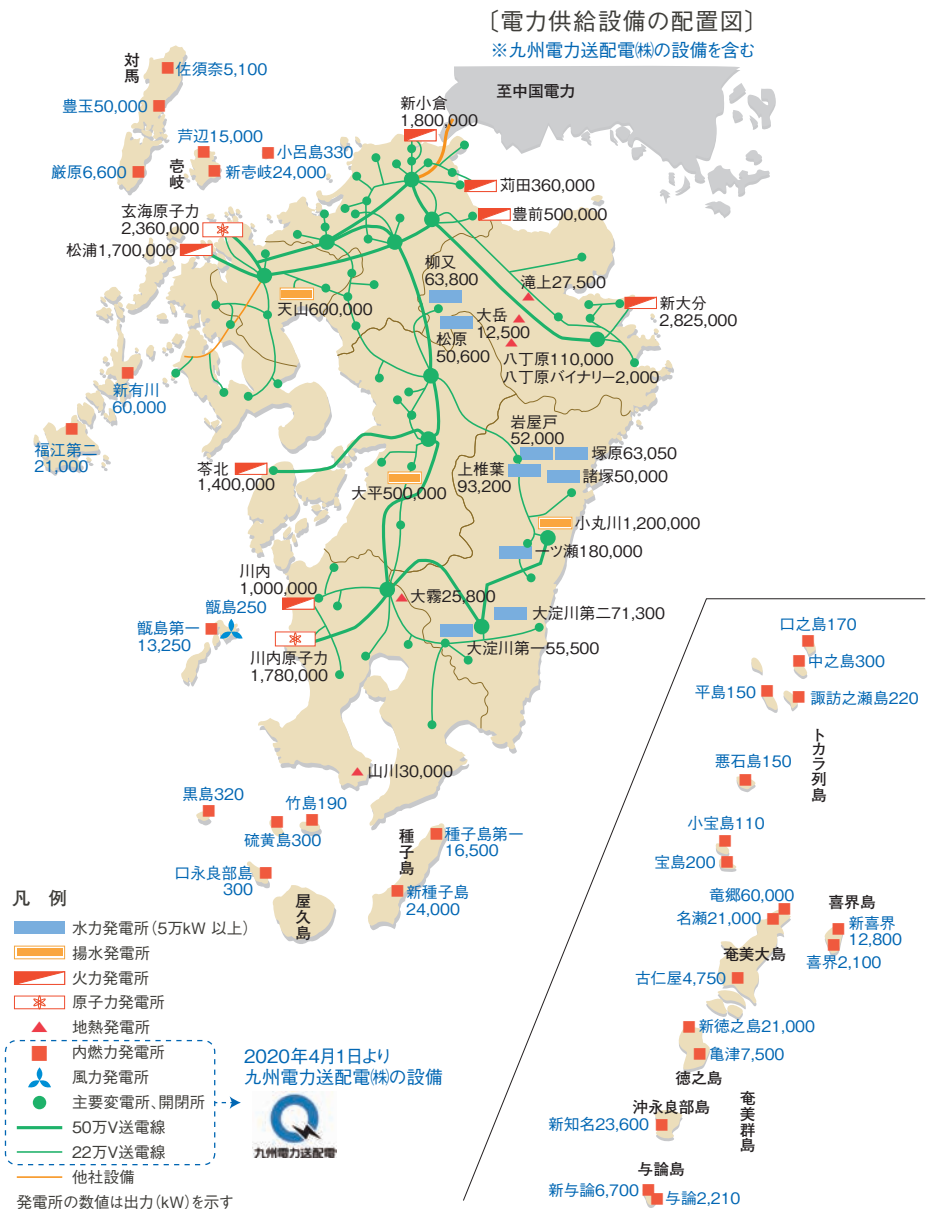
設立年月日	1951年5月1日
資本金	2,373億円
株主数	普通株式 143,054名
	A種優先株式 3名
売上高	18,180億円
総資産額	44,336億円
従業員数	12,829名

電力供給設備 〔2020年3月31日現在〕

※九州電力送配電(株)の設備(2020年4月1日以降)は
青字で記載

水力発電 (揚水含む)	本島 138か所 離島 5か所	357.6万kW 0.4万kW
火力発電 (バイオナリー含む)	7か所 6か所	958.5万kW 20.8万kW
内燃力発電 (ガスタービン含む)	32か所	40.0万kW
原子力発電	2か所	414.0万kW
風力発電	1か所	0.03万kW
発電設備合計(*)	191か所	1,791.3万kW
送電線路こう長	10,900km	
配電線路こう長	142,832km	
変電所	604か所	7,529.5万kVA

(*) 端数処理により合計値が合わない場合がある



気候変動リスクを低減し、豊かな地球を守ります。

CSR
重要課題

CO₂排出量の抑制
再生可能エネルギーの開発・受入れ
原子力発電所の安全・安定運転



再生可能エネルギーや原子力の活用など、「電源の低・脱炭素化」に
取り組むとともに、更なる「電化を推進」することで、
地球温暖化の原因であるCO₂の排出量を低減します

再生可能エネルギーの
積極的な開発

国内最大級



八丁原発電所（大分県）

地熱発電

マグマの熱エネルギーを利用し、
発電時にCO₂を排出しない

国内における九電グループの
再生可能エネルギー
設備保有量(*)は日本で第3位
(*) 2020年2月末時点。水力除く

再生可能エネルギーの
最大限の受入れ

世界最大級



豊前蓄電池変電所（福岡県）

蓄電池変電所

太陽光や風力などの発電量の変動に応じて
充放電

2030年までに九州における
CO₂削減必要量の
70%の削減に貢献

原子力の活用



川内原子力発電所（鹿児島県）

原子力発電

ウラン燃料の核分裂時の熱エネルギーを
利用し、発電時にCO₂を排出しない

電化の推進



オールデンカー（オール電化実演車）

EV（電気自動車）

電動機（モーター）を動力源とし、走行時に
CO₂を排出しない

気候変動リスクを低減し、豊かな地球を守ります。

CSR 重要課題

CO₂排出量の抑制

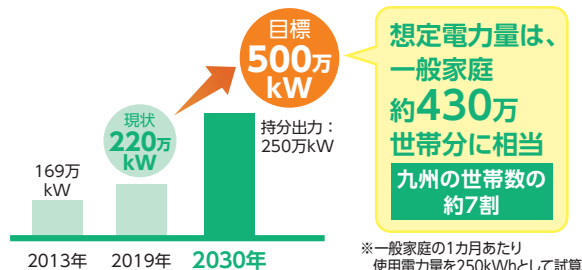
再生可能エネルギーの開発・受入れ

お客さまのニーズ・課題を踏まえたエネルギーサービス



再生可能エネルギーを積極的に開発しています

再生可能エネルギーは、地球温暖化対策に加え、国産エネルギーの有効活用といった側面でも優れた電源であり、強みの1つである地熱や水力の開発に加え、洋上風力やバイオマス発電などにも、積極的に取り組んでいます。



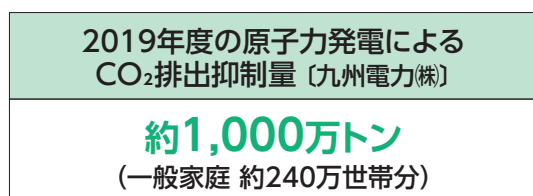
想定電力量は、
一般家庭
約430万
世帯分に相当
九州の世帯数の
約7割

[2019年度末、海外含む]

発電の種類	九電グループ開発量
太陽光	約9.4万kW
風力	約11.5万kW
水力	約128.2万kW
地熱	約54.8万kW
バイオマス	約16.5万kW
合計	約220万kW

発電時にCO₂を排出しない原子力の活用により、CO₂排出量を抑制します

原子力発電による火力発電の割合の低下により、CO₂排出量を大きく抑制しています。



CO₂排出抑制量は、
合計で一般家庭
約290万世帯分に相当
九州の世帯数の約半数

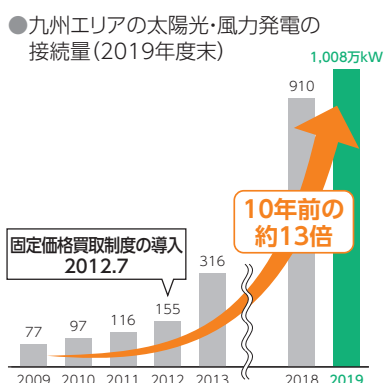
表中の再生可能エネルギーによる
CO₂排出抑制量
約200万トン
(一般家庭 約50万世帯分)

※2018年度のCO₂排出係数(調整後)及びJCCCA(全国地球温暖化防止活動推進センター)ホームページ「家庭からの二酸化炭素排出量(2018年度):約4,150kgCO₂/世帯」を使用して試算

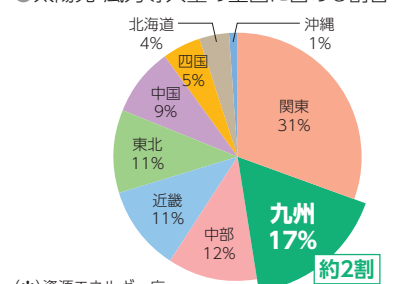
再生可能エネルギーを最大限受け入れます

九州電力送配電(株)では、春・秋など比較的電力需要が少ない時期に太陽光発電の一斉稼働により供給力が急増した場合などは、揚水・火力などの発電設備の稼働を調整することで需要と供給のバランスを保っています。

また、大容量蓄電池の活用など再生可能エネルギーを最大限受け入れるための技術開発にも取り組んでいます。



●太陽光・風力導入量の全国に占める割合(※)



(※)資源エネルギー庁「固定価格買取制度 情報公開用ウェブサイト」のデータをもとに作成(2019年12月末時点) 四捨五入により合計が含まない場合がある

オール電化やEVの普及促進などによる電化を推進します

九電グループでは、高効率給湯機であるエコキュートやIHクッキングヒーターを中心としたオール電化を推進しています。

また、九州電力(株)及び九州電力送配電(株)では、社有車のEV100%化(～2030年度)や「EVシェアリング」の普及促進などに取り組めます。

●オール電化の推進

住宅リフォームをコンセプトとする体験型ショールーム「きゅうでん e-住まい」やオール電化実演車「オールデンカー」などを活用した電化の普及活動を展開しています。



「きゅうでん e-住まい」でのIH調理体験

●EVシェアリングサービスの開始

九州電力(株)は、マンション入居者の「安心」・「便利」・「リーズナブル」なカーライフを実現するため、EVシェアリングサービス「weev(ウィーブ)」の提供を2020年12月から九州及び首都圏で開始します。



活用予定の電気自動車(例) テスラ/モデル3

気候変動リスクを低減し、豊かな地球を守ります。

CSR
重要課題

生物多様性の保全



「人と自然と、つくるみらい」をスローガンに、
地域と一体となった環境保全活動や環境教育による環境意識の啓発などを通じて、
九州の豊かな自然環境を未来につなげます



地域の皆さまと協働し、環境保全に取り組んでいます



「こらぼらQでんeco」

5,000名以上が参加 (2019年度)

詳細はこちら▶



岡城跡の清掃活動
(大分県竹田市)



九電みらいの森整備活動
(長崎県島原市)



鹿児島県指定天然記念物
「オニバス」の保護活動
(鹿児島県薩摩川内市)

〔清掃活動実績〕

2019年度は、

約76トン

(45ℓごみ袋で
5,700袋)

の廃棄物を回収しました。



平治岳のミヤマキリシマ保護・登山道整備
[九電みらい財団]



ずっと先まで、明るくしたい。



▲ホームページ



▲Facebook



▲Instagram

九州電力(株)は、「九州地域に広く貢献し続けたい」との思いから、2016年に「九電みらい財団」を設立しました。

自社の水源かん養林を活用して自然を大切にする心を育む体験型の環境教育を行うとともに、ラムサール条約に登録された坊ガツル湿原一帯(大分県竹田市)において、希少な植物や美しい景観を守るための環境保全活動に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染拡大によりお困りの 花の生産者の皆さまを支援する活動を実施しました

九州電力(株)では、新型コロナウイルス感染拡大に伴う、切り花需要の落ち込みを踏まえ、「無駄な廃棄を少しでも減らして、花の生産者の皆さまを支援したい」との思いから、花の購入を通じて生産者の皆さまを応援する活動「フラワー✳️フライデー(金曜日に花を購入し、花のある週末を過ごす取組み)」を実施しています。

2020年4月以降、九州各地において九電グループの社員を中心に呼びかけを行い、5月末までに約1,900束(約225万円)を販売し、生産者だけでなく購入に協力いただいた皆さまにも喜んでいただいています。

※このほかにも九電グループでは、新型コロナウイルス感染拡大による様々なお困りごとに対し、支援・協力を行っています。詳細は、九州電力(株)ホームページ特設サイト「あしたプロジェクト～あしたを、しんじて、たすけあおう～」をご覧ください。

<http://www.kyuden.co.jp/ashita-project.html>





次世代を中心に環境やエネルギーに関する様々な「学び」と「体験」の場を提供し、自然を大切にする心を育んでいます



「Qでん★みらいスクール」

45,000名以上が参加(2019年度)

詳細はこちら▶



教員を目指す大学生などを対象とした「環境エネルギー教育」



幼稚園や保育園を訪問して行う「エコ・マザー活動」



九州各県の森や公園で、楽しみながら森の大切さを学ぶ「きゅうでんプレイフォレスト」



実験・体験を通じて、環境問題や電気・エネルギーへの関心を持っていただく「親子科学実験イベント」

上記のほか、小学校などを訪問して行う「出前授業」や、電気・エネルギーについて実験などを通じてわかりやすく紹介する「動画」の配信なども行っています。

「九州電力の森」100周年記念事業の一環として、 社有林「くじゅう九電の森」で記念イベントを開催しました



九電グループは、水力発電で使用する水を守るため、そして発電する際に生じるCO₂を吸収させるために、長い間、森を大切にしてきました。

2019年度に育林事業が100周年を迎えたことを記念し、長年にわたってご協力いただいている地元の方々への感謝を込めて、同年10月、社有林「くじゅう九電の森」にて、「きゅうでんプレイフォレスト」を開催しました。

会場には、間伐つ(*)や植樹、木登りなど、普段は体験できないような様々なブースを出展し、来場者に、豊かな森の中で、自然の大切さを学んでいただくとともに、楽しい思い出を作っていました。

(*)森林において樹木の健全な発育を助けるために一部の木を切ること



「100周年記念モニュメント」を囲んで記念撮影

CSR
重要課題

電力の安定供給
原子力の安全・安定運転



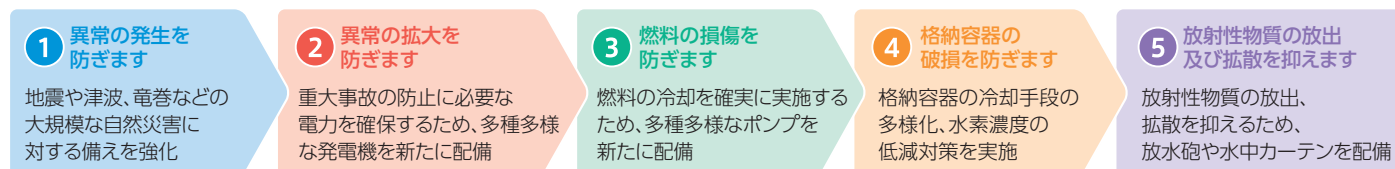
原子力の安全・安定運転に万全を期すとともに、 更なる安全性・信頼性向上の取組みを継続的行っていきます

原子力の安全確保に万全を期すための対策を実施しています

九州電力㈱の原子力発電所は、世界で最も厳しい水準にある「新規規制基準」に適合し、安全対策の有効性が確認されています。

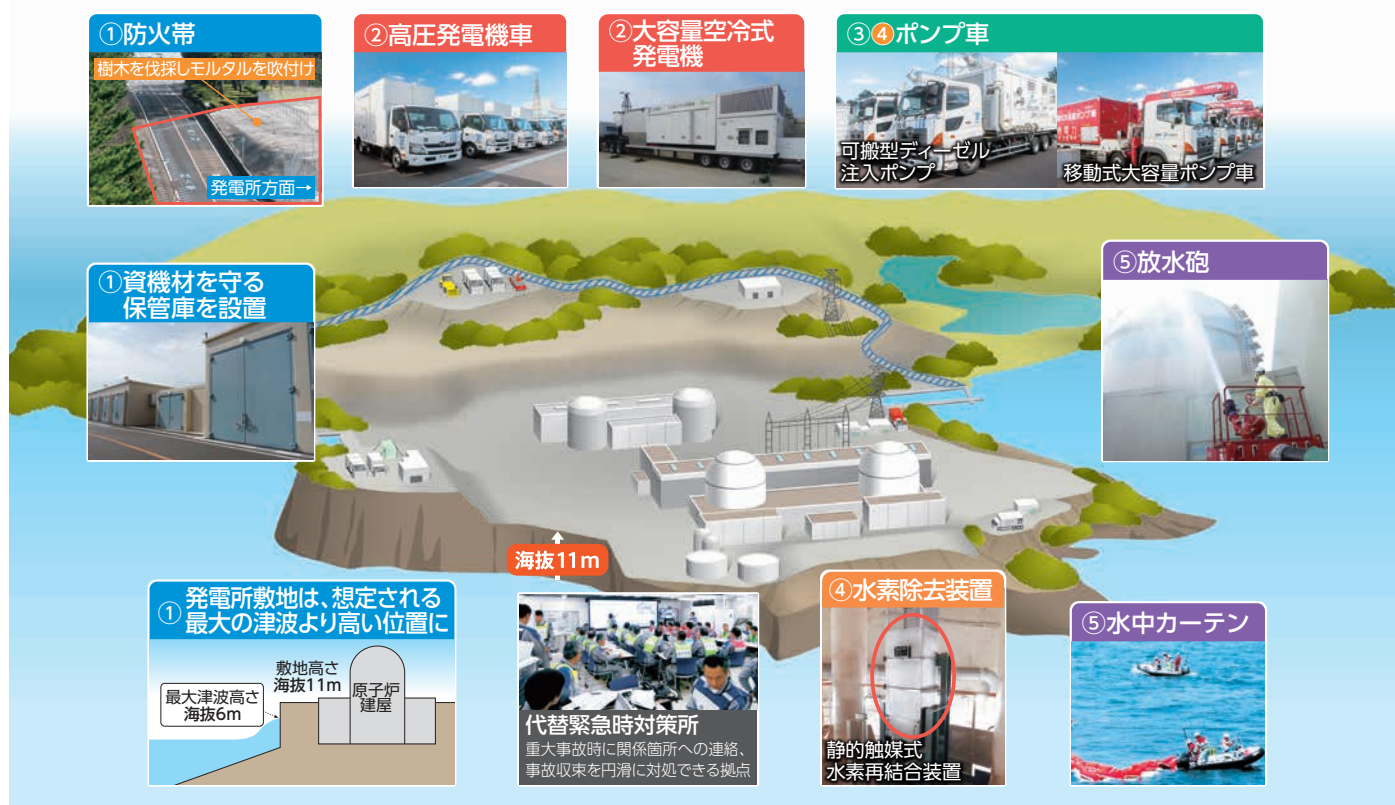
また、規制の枠組みに留まるだけでなく、今後も、最新の技術的知見やデータの収集に努めながら、継続的に原子力発電所の安全性・信頼性の向上に取り組んでいきます。

[重大事故を防ぐための5つの段階に応じた多様な安全対策の実施]



[玄海原子力発電所の安全対策(概要)]

※川内原子力発電所においても、同様の安全対策に取り組んでいます。



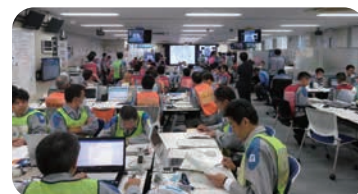
○玄海・川内原子力発電所では、テロなどへの対処機能を有する「特定重大事故等対処施設」(*)の設置を進めています

(*)原子炉補助建屋などへの故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムにより、原子炉を冷却する機能が喪失し炉心が著しく損傷した場合に備えて、原子炉格納容器の破損を防止するための機能を有する施設

[原子力防災体制の強化]

原子力発電所のあらゆる事象に速やかに対応できるよう、緊急時の体制の整備や様々な訓練を繰返し行い、対応能力の維持・向上にも努めています。

また、国・自治体の総合防災訓練への参加や、原子力事業者間での相互協力訓練への参加などを通じ、関係機関及び原子力事業者間の連携を図っています。



原子力防災訓練

災害に強いインフラを構築し、エネルギーを安定してお届けすることを通じて、 皆さまの生活や企業活動を支え続けます

電力の安定供給に向けて長期的視点から設備を形成しています

九州電力送配電㈱では、いかなる時でも質の高い電気を安定して皆さまにお届けするため、長期的な視点から送配電設備の建設・補修などを行っています。

【50万V日向幹線の建設】

現在、九州北部と南部を結ぶ50万V送電線は1ルートであり、今後老朽設備の更新工事を実施予定です。

この工事期間中に自然災害などのトラブルが発生した場合でも、広範囲に停電させることがないよう、新たなルートである50万V日向幹線（大分県―宮崎県間）の建設を2022年の運用開始に向けて着実に進めています。



50万V日向幹線

工事概要	
巨長	約124km
鉄塔	291基

無電柱化の推進により、災害に強い街づくりに貢献します

近年の災害の激甚化を踏まえ、九州電力送配電㈱では、災害時に電柱が倒壊して、災害復旧活動の妨げとならないよう、主要道路（国が定めた緊急輸送道路1,000km）のうち九州内における整備目標107kmについて、「無電柱化」を進めています。



〔無電柱化前〕



〔無電柱化後〕

電柱を活用して防災情報をお届けする現地実証を開始しました

2020年1月、九州電力㈱(*)は、自社電柱にスピーカーを取り付け、防災情報などをお届けする現地実証を、福岡県朝倉郡東峰村の協力のもと、同村内にて開始しました。

今回構築した新たなシステムでは、お住まいの近くの電柱を活用し、場所に応じた情報を選んで放送することにより、住民の皆さまが必要とする情報を、クリアな音声でお届けすることができます。

広域をカバーする現在の防災無線では、放送が反響したり遠くて聞き取りにくいなど、避難情報が住民に伝わらないという課題の解決と併せ、地域のニーズを踏まえ事業化を目指しています。

(*)現在は九州電力送配電㈱にて対応



現地実証用システムのイメージ

CSR
重要課題

電力の安定供給
安全で強靱なまちづくり



グループ会社や行政機関などとも連携した災害時の迅速な対応を通じて、 皆さまの暮らしを守ります

災害発生時には、九電グループの総力を挙げて復旧にあたっています

台風や豪雨といった自然災害などで大規模な停電が発生した際は、九電グループの総力を挙げて早期の送電復旧に努めるとともに、被災地の復旧支援にも貢献しています。

〔平成30年台風24号〕(最大停電戸数:約31万戸)

九州各県から、協力会社を含めて最大約4,700名を動員し、自治体や自衛隊などの協力も得ながら、昼夜を徹して復旧にあたりました。



配電線路復旧



電柱折損復旧



陸上自衛隊による復旧要員の輸送

完全自己処理型水洗トイレによる 被災地復旧支援を行いました

グループ会社のニシム電子工業(株)は、完全自己処理型水洗トイレ「トワイレ」を提供しています。

水道や電気などのライフラインを必要とせず、汲み取りも不要という特性を活かし、「平成29年九州北部豪雨」「平成30年7月豪雨(西日本豪雨)」「令和元年九州北部豪雨」の際には、被災地の復旧支援として貸出しを行い、多くの方にご利用いただきました。



「令和元年九州北部豪雨」の際に被災地に設置した「トワイレ」

自衛隊などとの訓練や協定を通じ、九州地域の災害対応力向上に貢献していきます

九電グループでは有事の災害に備え、自衛隊や自治体などとの共同訓練を毎年実施するとともに、様々な区域で活動する自衛隊や海上保安本部などと災害時の協力に関する相互協定を締結しています。

〔第十管区海上保安本部との協定締結〕

2019年3月、災害時に迅速かつ円滑に災害対応を行えるよう、第十管区海上保安本部と、相互協力に関する協定を締結しました。

この協定締結により、離島などへの復旧要員・資機材の輸送や、第十管区海上保安本部の施設・活動拠点への電源供給などが可能となり、災害時の双方の活動が迅速かつ円滑に行えるようになりました。



協定締結式の様子



第十管区巡視船「さつま」への資機材積み込みの様子



お客さまのニーズや課題にお応えできる 商品・サービスを提供します

🏠 お客さまのニーズにお応えする料金プランを展開しています

九州電力(株)では、お客さまのニーズや社会の課題を踏まえ、様々なライフスタイルにあった料金プランを展開しています。

【ご家庭向けプラン】

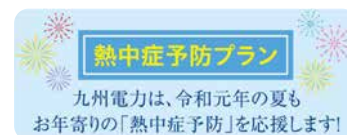
2019年2月、「少子高齢化、人口減少」という地域課題の解決に少しでもお役に立ち、九州を元気にしたいとの思いから、「すくすく赤ちゃんプラン」「IJUターン応援プラン」を創設しました。また、夏季には、お年寄りのご自宅での熱中症を予防するため、冷房や扇風機の上手な活用を少しでも応援したいとの思いから、「熱中症予防プラン」を2018・2019年度に期間限定で実施しました。



3歳未満のお子さまがいっぱいいるご家庭の5月分の電気料金を10%割引



Iターン、Jターン、Uターンなど、九州に移住されたお客さまの電気料金をお申込みから1年間5%割引



2019年度は、75歳以上のお年寄りがいらっしゃるご家庭を対象に、9月分の電気料金を1,500円割引

【法人お客さま向けプラン】

2018年9月、お客さまの環境経営への取組みを支援するため、九州電力(株)が積極的に取り組んできた再生可能エネルギー電源(水力、地熱)の電気が持つ環境価値を活用した、法人お客さま向けの料金プラン「再エネECOプラン」を創設しました。

🏠 九電グループの多様な商品・サービスを通じて、地域・社会の課題解決に貢献します

2019年2月から、自治体や企業を対象に、九電グループの様々な商品・サービスを「ウィズキュー」として販売しています。

「ウィズキュー」では、地域・社会の関心が高い「防災対策」「猛暑対策」などの4つのカテゴリについて、関連商品を取り揃え、自然災害の多発化・激甚化や、情報セキュリティ対策の複雑化などによる様々なリスクへの対応をサポートします。



防災対策



雨水や海水でスマホを充電
「Watt Satt (ワットサット)」
[九電産業(株)]



夏場ピーク時の屋根からの熱量を約9割カット
「遮熱シート (トップヒートバリアー)」
[九電テクノシステムズ(株)]

猛暑対策

情報セキュリティ



サイバー攻撃からデータを守る
「QT PROマネージドセキュリティサービス」
[株式会社Qtnet]



最適な「明かり」をご提案
「照明器具のLED化」
[誠新産業(株)]

LED化

CSR
重要課題

地場産業の振興と雇用創出
九州地域の交流人口の拡大



地域が抱える課題に真摯に向き合い、

九電グループの経営資源を最大限活用して、課題解決に貢献します

地域の交流人口拡大に取り組みます

都市開発事業や空港運営事業への参画など、様々な取組みを通じて、交流人口拡大などによる地域活性化に取り組んでいます。

【都市開発事業】

2018年7月、九州電力㈱を含むコンソーシアムが福岡市青果市場跡地活用事業の事業者として選定され、地域に賑わいを生み出す大型複合商業施設の開業に向けた準備を進めています。

【空港運営事業】

九州電力㈱は、他企業との共同での公募選定を経て、福岡空港(2019年4月民間運営開始)及び熊本空港(2020年4月民間運営開始)の運営権を取得しました。今後、国際線を中心に航空ネットワークの拡充を図るとともに空港が新たな賑わいの拠点となるよう様々な取組みを行っていきます。



福岡空港の将来イメージ

一次産業の活性化に貢献します

九州電力㈱は、2019年8月、福岡県朝倉市に実証試験施設「上寺(かみでら)いちご園」を設置しました。

「農業電化・養液栽培」などに関する技術やノウハウを活用し、「さがほのか」など人気品種の実証栽培を通じ、農家の皆さまの生産性向上や農業振興などを目指します。



いちご栽培ハウス内

グループ会社のニシム電子工業㈱では、農業向けITセンサー「MIHARAS(ミハラス)」を提供し、農家の省力化などを支援しています。



【MIHARAS】サービスイメージ

「Qでんにぎわい創業プロジェクト」を開始しました

本プロジェクトは、「地場産業振興」「商店街活性化」「交流人口拡大」をテーマとして、地域の皆さまと持続可能な地域課題解決ビジネスを企画し、協働で実施していくもので、2019年7月に、事業パートナーの公募を行いました。(37団体から応募)

現在、九州電力㈱・専門家・事業パートナー(長崎県東彼杵町と熊本県人吉市の各1団体)で構成する検討チームを設置し、具体的なビジネスモデルを検討中です。



長崎県東彼杵町におけるプロジェクトの様子

産学官との連携を通じた地域活性化を加速化させます

九州電力㈱は、九州の自治体や学術研究機関との地域課題の解決やまちづくりに関する包括連携協定を通じ、九州地域の社会的課題の解決、持続可能な発展に貢献していきます。

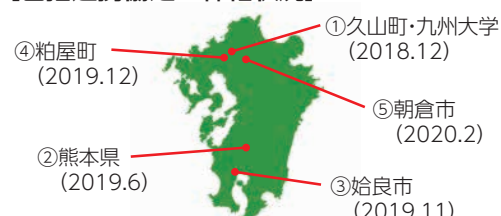
【熊本県との地域課題の解決に関する協定締結】

2019年6月、産業振興・人口減少社会への対応など、熊本県が抱える課題に県と協働して取り組んで行くことを目的に、包括連携協定を締結しました。

現在、県が進める熊本空港周辺地域の発展に向けた産業振興や企業誘致について、九電グループの技術力やノウハウを活かした取組みを進めています。



【包括連携協定の締結状況】





お年寄りや子どもたちなど、地域の皆さまが 安心して暮らせるやさしい社会づくりに貢献します

地域団体が取り組む次世代育成支援活動を助成しています

「九電みらい財団」では、九州の未来を担う子どもたちの健やかな成長を応援するため、NPOなどの団体が取り組む次世代育成支援活動への助成事業を行っています。

2019年度は、23件の活動に対し、総額約1,500万円の助成を行いました。

助成団体のご紹介(みくりや駅前元気カフェ)

「みくりや駅前元気カフェ」は、高齢者のボランティアが主体となり、地域における多世代交流の促進や高齢者の孤立防止を目的に、長崎県松浦市で地元の方々の居場所となるカフェを運営しています。

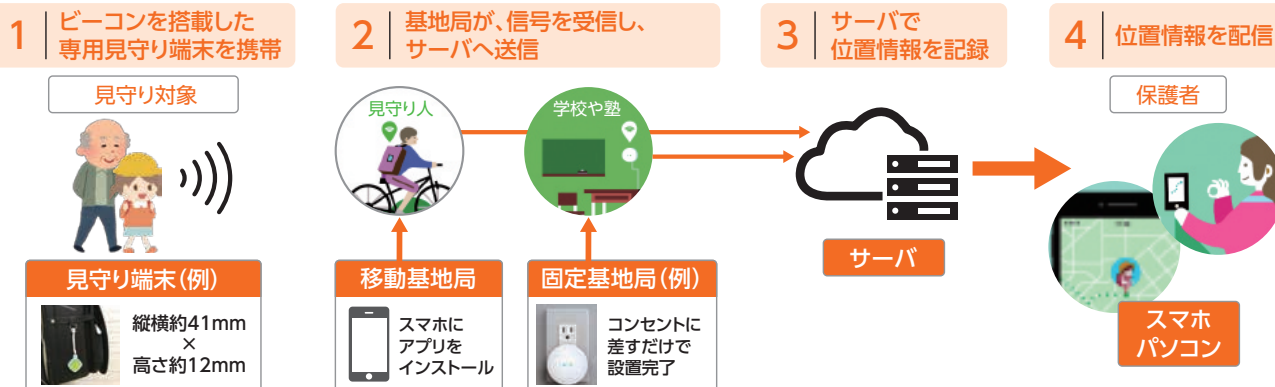
2019年度は、地元への愛着や地域のつながりの大切さを高校生たちに伝えるため、地元の木材を活用した幼児用木製遊具を共同制作しました。この取り組みをきっかけに、高校生や子育て世帯などより幅広い世代が訪れるようになり、地域の方々にますます愛される場所となっています。



幼児用木製遊具制作を通じた多世代交流

IoT技術を活用したお年寄りや子どもの見守りサービスを提供しています

九電グループのイノベーションプロジェクト「KYUDEN i-PROJECT」から生まれた新しい見守りサービス「Qottaby(キューオッタバイ)」を、福岡市内の小学校を中心に提供しています。このサービスは、ビーコン(電波発信機)を搭載した専用見守り端末を携帯する小学生や高齢者などの位置情報を、保護者の方などがスマートフォンやパソコンで確認することができるものです。



離島医療を支援しています

グループ会社の西日本空輸(株)では、ヘリコプター事業で培った強みを活かし、大小多くの離島を抱える長崎県で、長崎離島医師搬送システム(NIMAS)事業に参画しました。この事業では、移動手段に制約の多い離島医療に従事する医師に対して移動手段を提供することを通じて、離島医療を支援しました。

また、同社は、九州内5県でドクターヘリ事業にも参画しており、消防機関などからの出動要請に基づき、重篤患者が発生した現場に医師を迅速に送り込み、救命医療を支援しています。



救命医療専用のヘリコプター「ドクターヘリ」

九電グループ全体で、地域・社会の課題解決につながる イノベーションを推進し、快適な社会づくりを目指します

新たな事業・サービスを生み出すためのプロジェクト 「KYUDEN i-PROJECT」に取り組んでいます

九電グループ全体のイノベーションを推進するため、グループ横断のアイデア創出や、有望案件の事業化・サービス化に向けた取り組みを行っています。

【プロジェクトから生まれた案件の一部】

〔事業化案件〕



ベトナムに設立した現地法人
「Kyuden Innovatech Vietnam」
による水力発電運用改善事業



位置情報を活用した
見守りサービス
「Qottaby(キューオッタバイ)」



ドローンを活用した動画空撮、
映像編集、三次元画像などの
作成サービス
「九電ドローンサービス」



「教えたい人」と「習いたい人」を
つなげる習い事マッチング
プラットフォーム
「おけいこタウン」



優秀な外国人材の就業と、
定住による地域活性化を目指す
「KYUDEN GLOBAL事業」

他企業やベンチャーキャピタルと連携した 「オープンイノベーション」にも積極的に取り組んでいます

九電グループが有しているリソースだけではなく、ベンチャーキャピタルとの戦略的パートナーシップの構築やスタートアップ企業との提携など社外との連携を通じて、技術やノウハウ、アイデアを共有し、新しいビジネスやサービスを共創しています。

〔次世代植物工場の検討〕

九州電力(株)は、(株)九電工・東京センチュリー(株)・(株)スプレッドの3社と豊前発電所遊休地を活用した次世代植物工場^(※1)の事業化検討を行っています。

この工場は、レタスの生産能力日産5トンと世界最大級のもので、野菜の安定供給に貢献する社会的意義が非常に大きな事業です。

VPP^(※2)リソースとしての活用や再エネ電源との組み合わせによる低環境負荷のレタス提供など、新たな付加価値創出の可能性についても検討していきます。

(※1) (株)スプレッドの次世代型農業生産システム(Techno FarmTM)を導入し、建物内でLEDと養液を用いてレタスなどの作物を栽培する工場

(※2) パーチャルパワープラント：仮想発電所。電力の需給バランスを保つため、電力を使用する側の機器を制御し、発電所のように活用すること



事業化検討開始の記者発表

女性消防設備士による消防設備点検サービス「TEQNICO」を開始しました

マンション・アパートなどの集合住宅は、消防法で年2回の消防設備点検が義務付けられています。「プライベートな自宅への入室がある定期点検が負担」という女性の方々の声にお応えるため、集合住宅などにおいて、消防設備点検を九州電力(株)が育成した女性だけのチームで行うサービスの提供を2019年10月から福岡市内で開始しました。

TEQNICO



点検作業のイメージ

CSR
重要課題

人材育成
働きやすい職場づくり
コーポレート・ガバナンスの実効性確保



挑戦し、成長し続けるための人材・組織づくりに取り組みます

働きやすい職場づくりに取り組んでいます

【働き方改革の推進】

九電グループでは、従業員が活力を持って仕事に取り組める環境づくりや、業務効率化による労働生産性の向上、チャレンジできる組織風土への変革を目的として、働き方改革に取り組んでいます。

（テレワークの推進・サテライトオフィスの設置）

九州電力(株)及び九州電力送配電(株)では、社員のワーク・ライフ・バランスの充実などを目的に、時間や場所を有効に活用した柔軟な働き方が可能となる「テレワーク制度」を2013年4月に導入しており、順次適用職場を拡大しています。

また、通勤時間の短縮や集中した作業が可能となる「サテライトオフィス」も複数箇所に設置しています。



自宅でのテレワークの様子

【健康経営の推進】

あらゆる事業運営の基盤である従業員の健康保持・増進を目的に健康経営を推進しています。

2020年2月には、従業員の健康づくりのサポートなどに取り組んでいることなどが評価され、九州電力(株)は3年連続で「健康経営優良法人(ホワイト500)」の認定を受けました。



※健康経営優良法人認定制度

経済産業省と日本健康会議が共同で、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度

ダイバーシティを推進しています

【性別・国籍を問わない多様な人材の活躍推進】

九州電力(株)及び九州電力送配電(株)では、育児などのライフイベント時期においても、男女ともに安心して活躍できる環境を充実させるため、夫婦での参加を推奨した両立応援セミナーや育児期の勤務地配慮などを行っています。

また、多様なバックボーンを持つ人材の活躍による組織の活性化を促すため、他企業からの中途採用に加え、外国人採用も行っており、2020年3月末現在、6カ国の人材が活躍しています。



仕事と育児の両立応援セミナー

【障がい者の活躍推進】

障がいのある方も地域・社会の中で活躍することができる社会づくりにグループ一体となって貢献するため、障がい者雇用を促進しており、特例子会社の(株)Q-CAPでも、複数名がそれぞれの個性や能力を活かして活躍しています。

同社では、聴覚に障がいのある方向けに、九州をはじめ各地域で40局を超える放送局の番組字幕の制作などを行うとともに、2019年には、資料の印刷やデータ入力などを行うビジネスサポート事業も立ち上げました。



ビジネスサポート事業

経営トップ自ら率先垂範する姿勢を示し、グループ全体で「コンプライアンス経営」を徹底します

九州電力(株)はこれまで、取締役会のもとに設置したコンプライアンス委員会を中心として活動計画を策定・実践するなど、コンプライアンス経営を推進してきました。2020年6月には、「いかなる場合でもコンプライアンスを最優先に事業活動を行う」旨を社長が宣誓し、社会の皆さまにお約束しています。(ホームページで公開)

コンプライアンス経営の徹底に向けて（抜粋）

私は、コンプライアンスとは「人に迷惑をかけない」「社会に損失を与えない」「不正な行動をとらない」ということが基本精神であると考えております。九電グループトップの責務として、この基本精神を自ら実践し、グループ全体にも浸透させ、いかなる場合でも、コンプライアンスを最優先に事業活動を行ってまいります。

コンプライアンスに反する行為は社会からの信頼を瞬時に失うものであるということを肝に銘じ、九電グループにおけるコンプライアンス経営の徹底に向けた不断の取組みを強く推進していくことを皆さまにお約束いたします。

2020年 6月

九州電力株式会社
代表取締役 社長執行役員

池辺 和弘



グループの経営資源を活用し、 様々な事業領域で、地域・社会の課題解決に取り組めます

持続可能な社会の実現

地域・社会の課題解決

国内電気事業

- 九州電力(株)
- 九州電力送配電(株)
- 九電みらいエナジー(株)

ICTサービス事業

- (株)QTnet
- ニシム電子工業(株)
- 九電ビジネスソリューションズ(株)
- (株)QTmedia

エネルギー関連事業・海外事業

- 九州林産(株)
- (株)九電ハイテック
- 西日本プラント工業(株)
- 西技工業(株)
- 九電産業(株)
- 西日本技術開発(株)
- 西技測量設計(株)
- (株)九電工
- 西九州共同港湾(株)
- (株)九建
- 九電テクノシステムズ(株)
- 西日本空輸(株)
- 九州高圧コンクリート工業(株)
- 光洋電器工業(株)
- (株)キューヘン
- 誠新産業(株)
- 西日本電気鉄工(株)
- (株)キューデン・インターナショナル
- 大分エル・エヌ・ジー(株)
- 北九州エル・エヌ・ジー(株)
- 串間ウインドヒル(株)
- 西日本環境エネルギー(株)
- 長島ウインドヒル(株)
- (株)福岡エネルギーサービス
- みやざきバイオマスリサイクル(株)
- 戸畑共同火力(株)
- (株)福岡クリーンエナジー
- 大分共同火力(株)
- 九州冷熱(株)

都市開発・まちづくり、 インフラサービスなどの事業

- (株)キューデン・グッドライフ
- (株)九電ビジネスフロント
- (株)電気ビル
- 九電不動産(株)
- (株)九電ビジネスパートナー
- 九州メンテナンス(株)
- 九州高原開発(株)
- (株)Q-CAP
- 記録情報マネジメント(株)
- (株)オークパートナーズ
- 九州住宅保証(株)
- 伊都ゴルフ土地(株)

※主なグループ会社を記載

① 具体的にはどのように地域・社会の課題解決に取り組んでいるの？

詳しくは裏面へ

九電グループの事業や商品・サービスによる地域・社会の課題解決事例

■エネルギー関連事業・海外事業

◎九州林産(株)

—社有林の適切な管理—

九州電力(株)が保有する社有林の適切な管理(*)により、森林が持つCO₂吸収や生物多様性保全などの機能や効果の維持・向上に貢献

(*)適切な森林管理が行われていることを認証するFSC®認証を取得(FSC-C018956)



◎西日本技術開発(株)

—海外での地熱発電開発支援—

国内で培った経験と最新技術を活かして、海外での地熱発電開発の支援に積極的に参画(*)

(*)インドネシア、コスタリカ、ニカラグア、ケニア、エチオピアなどで支援を実施



ウルブル地熱発電所(インドネシア)

◎九電テクノシステムズ(株)

—太陽光発電で電源を確保—

太陽光発電で発電した電気を大容量(15kW)蓄電できる「青空コンセント」を提供。電源・基礎工事が不要で簡単に設置・移動でき、災害時の電源確保での活用が期待



◎(株)キューヘン

—環境にやさしい省エネ給湯機の提供—

空気の熱と、割安な深夜電力を利用してお湯を沸かす、環境や家計に配慮した省エネ給湯機「エコキュート」の提供を通じて、省エネライフの実現に貢献

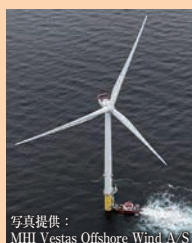


◎ひびきウインドエナジー(株)

—響灘地区を世界に誇る「風力発電の街」に—

九電みらいエナジー(株)他4社が設立。北九州市の「響灘洋上風力発電施設の設置・運営事業者公募」において、優先交渉者に選定。2019年10月に風車機種候補を選定し、現在基礎などの設計を実施中

2021年に事業計画の具体化を図る予定



写真提供：MHI Vestas Offshore Wind A/S

◎みやざきバイオマスリサイクル(株)

—地元畜産業と連携した発電事業—

宮崎県川南町で、養鶏農家の方々との共同による、鶏ふんを利用したバイオマス発電事業を実施し、家畜排せつ物による地域環境問題の解決を図るとともに、CO₂排出抑制にも貢献



■ICTサービス事業

◎(株)QTnet

—お客さまの情報システムを守る
データセンターサービス—

「災害に強い信頼の都市型データセンター」として、地震や停電に強く、厳重なセキュリティにより、お客さまのシステムやデータを守るデータセンターサービスを提供



◎九電ビジネスソリューションズ(株)

—ICTソリューションの提供—

九州電力(株)のシステム構築で培った技術力を活用して様々な企業の経営課題解決にICT面から貢献するとともに、研究拠点「QBS-Lab」において地域の技術者との研究や交流を実施



■都市開発・まちづくり、インフラサービスなどの事業

◎九電不動産(株)

—「みらいにつながる、快適で環境にやさしい、安心な空間」を提供—

お客さまのライフスタイルに合わせたオール電化住宅の提供を通じ、人と環境とが調和した住まいづくり、街づくりに貢献



◎記録情報マネジメント(株)

—記録情報の
総合マネジメントサービス—

企業が緊急事態に遭遇した際のBCP(事業継続性)対策や情報セキュリティ対策として、企業の記録情報を消滅・流出などから守る、記録情報管理のワンストップサービスを提供



◎(株)キューデン・グッドライフ

—有料老人ホーム事業—

本格的な高齢社会を迎える中、高齢者の方々に充実したシニアライフを送っていただくため「有料老人ホーム事業」を展開し、充実した生活支援や医療支援体制など、安心で快適な生活の場を提供



◎九州メンテナンス(株)

—ビルメンテナンスの
トータルサポート—

自社専用研修所での専門教育や資格取得支援を通じて育成した総合施設管理のプロによる清掃・設備管理・警備などのサービス提供を通じ、お客さまに快適で明るい環境を提供



サステナビリティ報告書



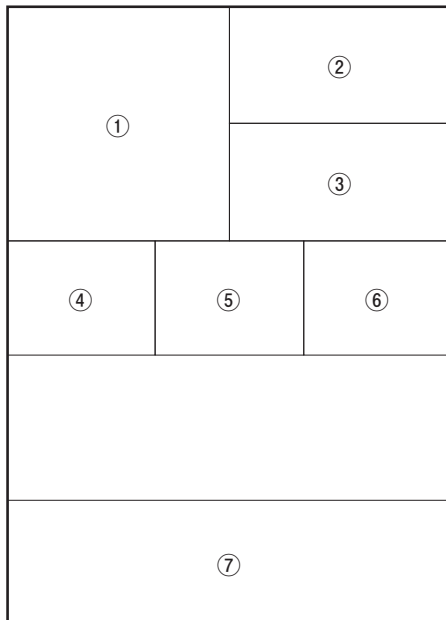
- CSRの取組み全般を
九州電力(株)ホームページで
詳細にご紹介しています

九州電力CSR

検索



表紙について



- ①佐賀国際バルーンフェスタ競技中の巡視
〔九州電力(株)^(*)／佐賀県佐賀市〕
(^(*))2020年4月1日より、送電線巡視は、九州電力送配電(株)にて実施
- ②オールデンカー(オール電化実演車)と子どもたち
〔九州電力(株)〕
- ③くじゅう九電の森での環境教育
〔九電みらい財団／大分県由布市〕
- ④サルーラ地熱発電所
〔(株)キューデン・インターナショナル／インドネシア〕
- ⑤働く社員の様子
〔九州電力(株)〕
- ⑥平治岳山頂から(九電みらい財団第3回Instagram
フォトコンテスト金賞受賞作品) 〔大分県竹田市〕
- ⑦油山からの夜景(九電グループ公式Instagramに掲載)
〔福岡県福岡市〕

- 九電グループ公式Instagramでは、「九州の夜景・灯りのある風景」
「九州の自然・風景・まつり」「電気が生まれる・繋がる風景」を
テーマとした写真をお届けしています。

九電グループ
公式Instagram
ページはこちら



- 九電みらい財団公式Instagramでは、活動時に撮影した
写真や、フォトコンテストの応募作品などをご紹介します。

九電みらい財団
公式Instagram
ページはこちら



配布事業所

■CSRの取組みに関するご意見・お問合せ先
九州電力株式会社 ビジネスソリューション統括本部
地域共生本部 CSR・総括グループ
〒810-8720 福岡市中央区渡辺通2-1-82
TEL:092-726-1596 FAX:092-711-0357
E-mail:CSR@kyuden.co.jp